

# ガンコ親父の

夏は暑いに決まっているが、それにしても暑い。松次郎は昨夜、夏は家の中が整理されていらないとイライラするので、盆前に不要なものを処分したり、整理・整頓を徹底的にやるうぜ、とみんなに言い放ったのだった。ご先祖様に笑われないように、と。

本当は一緒に住んでいる次男坊である学(まなぶ)の「片付けられない悪い癖」を少しでも直そうと思い、そこから出た言葉だった。嫁の花菜(かな)に甘えて、散らかし放題なのを松次郎は知っていた。情けない性格だが、もう子供持ちの立派な大人なのだから、昔のようにゲンコツをくれてやるわけにはいかない。

しかし、学に対して当て付けがましく言ったはずのその言葉は、なんと松次郎の心にブーメランのように返ってきたのだった。玄関の下駄箱には

松次郎のくたびれ果てたままのジヨギングシューズが眠っているのを思い出したからだ。

可愛い息子嫁が義理の父の健康のために

と最初にくれたプレゼント靴を、感激した松次郎は雨の日も風の日も、毎朝履いて走った。

その靴には息子嫁の思いと自分の毎日の頑張り

の歴史が詰まっている。今は自分で買った二代目を履いているし、

その靴は不要であるはずだが、どうしても捨てることができない。さあ、困った。松次郎はため息をついた。そして「整理整頓宣言」を発した自分を呪った。

その夜、松次郎は妻の責代から「学がアナログのレコード盤も聴ける多機能プレーヤーを買ったんだって。居間においてもいいかって、言っただけ」と声をかけられた。

『しまっちゅ伝蔵』を飲んでいた松次郎は、その言葉に、はつと我に返った。レコードも聴けるプレーヤーだなんて。学の

奴、俺がレプレコードを捨てられないのを知っていて、嫌味なことを。それも自分たちの部屋じゃなくて、みんなが使える居間に置いてもいいか？ だって。俺への当てつけか。

松次郎は少しイラっとした。「学はやっぱりあなたの子ね」と責代は

頷いた。「あの子の片付けられない病はあなたの遺伝子なのよ、さっさと」。自分が気に入ったものは、とことん最後まで大切にしようとするのが二人の共通点だわ、困った

性格でもあるけど、と責代は笑った。

少ない小遣いの中からプレーヤーを買ってくれた息子のことを思うと、

腹立たしさも消えていった。陰では、

親のことを大切に思ってくれているのだ、奴は。知らないうちがいい大人になった

ものだ。この息子の行動と成長した姿を、

ご先祖様にも報告しなければと思った瞬間、不覚にも目頭が熱くなった。

涙を見られるのが嫌な松次郎は

「悪いけど、早く水割り用の氷を持ってきてくれ」と焦って言った。

「はい、はい」と責代は返事をしたが、「はい」は一回でいい

と、いつものように松次郎の大きな声が響いた。

うるさいけれど一家には「必要」な声であった。



しまっちゅ  
伝蔵  
でん  
ぞう

常圧蒸留

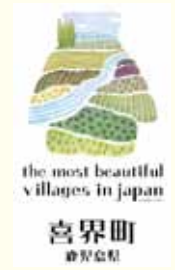
昔ながらの手造り  
こだわり焼酎  
喜界島の肥沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統を受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12  
TEL 0997(65)0251

25度  
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



# 不要の「要」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。